

最後の留学体験記になるので、一年を総括して感じたことをレポートに残したいと思います。

一年を通して

不安だらけの渡航前とは裏腹に、とても充実した楽しい時間を過ごすことができました。大学の授業は分からないことも多々ありましたが、基本的なことができれば単位を取ることができ、友達も日本にいた時より簡単に作ることができました。もちろん、苦しいこともありましたが、全力で毎日過ごしている感覚がとても心地よかったです。またこの大学では、私には到底追いつけないような素晴らしい思考をもって生活している学生がたくさんいました。そのような人たちに会えて、友達になれたことはとても幸運だったなと思います。ケント州立大学を選んで、本当によかったです。

よかったこと

留学では、やりたいことがたくさんありました。友達と過ごす時間、授業のための勉強時間、英語の勉強時間などです。すべてに全力で時間を割くことは不可能だったので、優先順位をつける必要がありました。その中で、友達と過ごす時間を最優先に考えて行動したことは、本当に正解でした。もちろん、英語や授業の勉強は大切ですが、この先、留学した後も残っていくもので考えた時に、友達が一番大切だと思いました。なので、ほとんどの友達の誘いは断らずに行っていました。そのせいで、寝不足になったり、授業のクイズでは満足のいく点数がとれなかった時もありましたが、そのネガティブな側面を上回る楽しさや思い出が作れました。

後悔していること

外国人の友達ができ、一緒に時間を過ごしたことと同時に、日本人とも少なくない時間を過ごし、日本語を使ってしまいました。英語を勉強しにわざわざアメリカまできたのに、日本人と日本語を使って時間を過ごしたことは後悔しています。もちろん、日本人のコミュニティーに入ったことで、出会えた素晴らしい友達もたくさんいます。ですが、英語を伸ばすという観点からは、間違った選択をしたと感じています。

これから留学する人へ

ケント州立大学には、これまで日本で会ってこなかった個性的な学生がたくさんいます。とても努力家で、魅力的で、友達思いの学生が多くいるこの大学は、留学生生活を一生のものにしてくれると思います。また、苦しくなった時には、全力で助けを求めてください。必ず先生や学生が優しくサポートしてくれます。また、この場所で悩んだり、苦しんだり、楽しんだりした経験は、自分を強くしてくれると思います。これから留学を予定している人や、検討している人の、留学生活が素晴らしいものになることを願っています。



友達の家で開かれたパーティー



コロンバスへ旅行した帰り



バドミントンクラブのメンバーと



テキサスステーキハウスのステーキ



図書館での写真



自由の女神



タイムズスクエア